



月潟中学校  
学校だより

# 翔舞



R 8 第 6 号  
令和 8 年 8 月 3 1 日  
発 行  
新潟市立月潟中学校  
新潟市 南区月潟740  
☎ : 375-2106

夏休みが明け、校舎に生徒たちの賑やかな声と活気が戻ってきました。

ご家庭でのお声掛けや地域のみなさまの見守りのおかげで、生徒たちが事故やけがなく無事に夏休みを過ごせたことに、心より感謝申し上げます。

一方、夏休み明けは、心身の不調や悩みを抱えやすい時期でもあります。生徒のサインを見逃さず、一人ひとりに寄り添った指導と支援に努めてまいります。

## 夏休み中の生徒の活動紹介

### わたしの主張 ～「争いごととはじゃんけんで決めよう」～

8月19日（水）に黒崎市民会館で開催された「令和8年度 新潟県少年の主張 一わたしの主張—新潟市地区大会」に、3年生の●● ●●さんが出場しました。304名の応募から作文による一次選考を通過し、同様に選ばれた10名の中で、堂々と自分の考えを発表しました。結果は、奨励賞を受賞しました。●●さんの主張を紹介します。

「争いごととはじゃんけんで決めよう」

私たちが住んでいる日本は、アメリカなどのように銃社会でもなければ、ウクライナのように爆撃で誰かにとっての大切な方が亡くなることもない、とても平和な国です。そんな平和な国、日本に住んでいる私は、ニュースでウクライナやパレスチナ（ガザ地区）の現状を見ても、にわかには信じられず、まるで映画のワンシーンのように感じました。今から伝えるのは、平和なこの国に生まれた、実際にこの目で戦争を見たわけでもなく、本当の悲惨さや残酷さも知らない私の、戦争に対する願いです。

そもそも、戦争が起こる主な理由には、「民族」「宗教」「資源」「政治」「領土」の争いなどがあります。これらが複雑に絡み合い、国際社会において外交で解決できなくなったときに、武力衝突へと発展します。罪のない戦闘員、市民、高齢者、未来ある子どもの命などが、戦場ではたんぽぽの綿毛が空に飛んでいってしまうように、簡単に奪われてしまいます。

どんな理由があろうとも、罪なき人々の命が失われることは、到底許されるべきではありません。そこで私は、争いごととは「じゃんけん」で決めようと言いたいです。この言葉だけを聞くと、子どもの空想のように聞こえるかもしれませんが、もちろん、私が伝えたいのは、本当に戦争をじゃんけんで決めよう、ということではありません。

誰かの大切な人の命を奪い合うよりも、きっとよい方法がある。話し合い、争わずに解決しよう、という願いを「じゃんけん」という言葉に込めました。じゃんけんは勝ち負けを決める方法の一つです。負ければ悔しい気持ちになることもありますが、決して誰かが命を落とすことはありません。小学生、あるいは幼稚園児でも知っているこの方法の方が、大人が引き起こす戦争よりもずっとずっと賢い方法ではないでしょうか。それくらい、「戦争」という方法は馬鹿げていると思います。

もちろん、現実の国と国との間の問題は、じゃんけんで解決できるほど単純ではありません。先ほど述べたような民族、宗教、資源といった様々な事情が、複雑に絡み合っています。だからと言って、人の命の優先順位が下がるのはおかしいのではないのでしょうか。「誰かの大切な人が亡くならない方法で解決したい」という思いを諦めてはいけないと思うのです。世界中の人が決して忘れてはいけない大切な思いだと思います。特に、私たち日本人のような平和な日々を過ごせている人たちこそ。

私は幸せなことに、戦争を体験したことはありません。しかし、今日日本で平和に暮らしている私たちも、世界で起きている出来事を知り、命の大切さについて考えることはできます。一人で世界を変えることは難しいです。けれども、一人一人が平和を願い、その思いを言葉や行動にしていくことで、世界は少しずつ変わっていくのではないのでしょうか。思いがないと行動には移せません。思いや願いは行動の第一歩です。私はこれからも、命を奪い合うことが当たり前ではない世界を願い続けます。そして、誰もが安心して笑顔で暮らせる未来になってほしいです。あたり前にある平和の幸せに気づいている一人一人が、思うことをやめてはいけないと思います。

「争いごととはじゃんけんで決めよう」という言葉には、争いではなく平和を選ぶ世界になってほしいという私の願いが込められています。しかしそれと同時に、「戦争」という言葉や、そこで多くの人が命を落とし苦しんだ、という事実まで、忘れられてしまう未来にはなってほしくありません。戦争の悲惨さが風化してしまえば、同じ過ちを繰り返してしまうかもしれません。だからこそ、戦争を経験していない私たちが、その出来事を知り、学び、語り継いでいくことが大切だと思います。過去を知ることは、未来の平和を守ることに繋がります。戦争を歴史の一ページとして終わらせるのではなく、「二度と繰り返してはいけない出来事」として、これから先も受け継いでいきましょう。世界中の未来を生きる子どもたちが、戦争のない世界を生きてほしい。そしてその子どもたちには、「昔、本当に戦争という悲しい出来事があったのだ」ということを学び、命の尊さや平和の大切さを知ってほしい。その思いを繋いでいくことが、戦争を繰り返さないために必要なことだと、私は思います。



## 英語発表会 ～My path to the goal～

8月20日（木）に白根学習館で開催された「第35回新潟市中学校英語発表会」に、3年生の■■■■さんが出場しました。“My path to the goal”というタイトルで自分が夢中になって取り組んでいることについてどのように目標に向かって努力しているかスピーチしました。高木さんは夏休み前から準備を始め、夏休み中も家で練習や、学校での発表練習などに取り組んで努力し、本番では堂々とした本当に素晴らしいスピーチを発表しました。■■■■さんのスピーチを紹介します。

Hello, everyone!

What are you interested in?

I guess you are into studying, sports, club activities or art.

For me, I'm into cheerdance, playing the piano and studying hard.

I will introduce how to achieve my goal.  
 First, I practice cheerdance a lot.  
 I have done cheerdancing since I was in the first grade. I am on the cheerdance team.  
 My team aims to go to Nationals that's the highest level of the competition.  
 To reach my goal, I'll keep working hard with the mindset that our team will "never give up".  
 I'm always checking videos carefully and dancing at home every day.  
 When we are practicing and dancing correctly, our minds become one. I cherish these moments.  
 Second, I have played the piano since I was five years old.  
 The piano is a very beautiful instrument and I practice over and over.  
 I struggle with how to express the composer's feelings through the piano and it's challenging for me.  
 But, I keep playing the piano because I'm always aiming higher.  
 I really like these moments that I could overcome difficulty.  
 In addition, I need to study for entrance exams.  
 Despite my busy schedule...  
 I think that having a never give up attitude and making even a small daily effort is essential.  
 When I can feel my growth, I know I'm closer to my goal.  
 In conclusion, I love the moments when I reach my goals.  
 Working on something well needs patience and it can be a really long journey.  
 But I want to remember it's never a failure or waste of time.  
 In the future, I might not always reach the goal that I want but I believe this effort will lead to something in the future.  
 It's definitely worth it.....That's why I tackle everything sincerely.



## 陸上競技

3年生の☆☆ ☆☆さん (Rize AC) は、8月6日富山県で開催された第47回北信越中学校総合競技大会と、8月21・22日に山口県で開催された第53回全日本中学校陸上選手権大会に出場しました。北信越大会は各県の予選を勝ち抜いた選手が集まり、全国大会は参加標準記録を突破した選手が競う、非常にハイレベルな大会です。☆☆さんはその中で健闘し、北信越大会で入賞しました。



- 第47回 北信越中学校総合競技大会  
110mハードル 5位入賞
- 第53回 全日本中学校陸上選手権大会  
4種競技 (110mハードル、走高跳、砲丸投、400m) 15位